

東北ブロック競技報告事項

- ① 計時 試合終了(タイマー0)と同時にロングホイッスルを入れる
- ② タイムアップは0と同時に試合終了する。

副審の補佐が重要

- ③ 試合開始・終了時、記録・計時も6審と同時に起立および礼をする。
- ④ 6審の協議が割れたとき、主審が戻るまでセンターで待つ。

JDBA競技委員会より

- ・全国大会につながる大会については、チーム呼称でコールする。
- ・2審・3審の選手点検時、手(滑り止め等)靴 以外にも注意する。
問題があればチーム監督・主審・コートマスター立会いのもと確認する。
- ・試合終了間際のプレーについては必ずコートマスターに確認する。
- ・試合終了し人数報告の際、主審の報告に対し記録は人数のみ復唱する。
- ・試合終了後の監督サインをいただいてから勝敗の○×△を赤で記録する。
審判員サインはフルネームで記録する。
- ・ワンタッチ、ノータッチBで線審のジャッジが割れた場合は必ず協議する。
主審が気づかないときはタイムの要求をして協議する。
- ・審判員休憩時の待機の態度に注意する。
- ・大会中、チーム関係者との接触は極力しないようにする。
- ・オフィシャルタイムアウトが継続中にコートマスターが主審を呼ぶ必要がある場合は「ピー！」片手をあげて「主審」とコールする。
- ・携帯・スマートフォンのコートへの持ち込みおよび操作は自粛する。
- ・マナーを守る。大人として子供達のお手本となるよう心得ること。

2015年度 東北ブロック中央研修会

〈 ケーススタディー〉

事例1：

「アウトプレイ状態(外野エリアで)」のプレイヤーに対し、外野プレイヤーがアタック、「アタックが成功」したが、跳ね返ってきたボールがアタックしたプレイヤーに「直接当たった」場合、外野プレイヤーは内野に復帰できるのか？

事例2：

BチームのプレイヤーにアタックされたAチーム内野プレイヤーがキャッチできずにボールが空中にある(アシストキャッチできる状態にある場合)間に、Bチーム外野プレイヤーが手でボールを弾き(ボールタッチ)直接「アウト・オブ・バーンズ」となった場合、Aチーム内野プレイヤーは「アウト」になるのか？また、ボールの支配権はどのようになるのか？

2015年度 東北ブロック中央研修会

〈ワークショップ〉

ライン際のプレイ判定(オーバーライン・ワンタッチ・ホールディングの定義)

●外野プレイヤーが味方内野プレイヤーの投球したボールをキャッチしたが、ライン際でバランスを崩して転倒した。想定されるケースと判定は？

公式ルール&審判テキストブックの改定項目 ①

【2015-2016年度版】

<公式ルール>

- P24 第502条 ①競技開始前に、コート^①の安全確認、競技用具、ゲームオ
フィシャル用具、禁止用具等の確認を行う。
- P29 第706条 ④チームに成人がいなくなった時点で不完全となったチームとし、当該チ
ームの負けとする。そのチームはその大会における以降のセット及び
試合には出場できない。この場合における試合の勝敗は、第705
条③に準拠する。
- P31 第710条 ②一方のチームが、第706条④の状態となった時点で、その相手チーム
を不戦勝とする。この場合における試合の勝敗は、第705条③に
準拠する。

<主審・線審の動作>

- P56 線審の動作（写真）「アドバンテージ」

<審判テキストブック>

- [第1章 チーム] P58 チーム編成 2) ユニフォーム規定第3条(3)に該当する大会に参
加するチームにおいて、ベンチに入るチーム役員(監督・コー
チ・マネージャー)がプレイヤーと同じユニフォームを着用し選
手番号と同様の表示をする場合は、21番以降の番号とする。
- [第2章 競技場] P60 コートの作成 3)ペナルティーベンチは、会場の仕様に
応じ、大会主催者の判断にて変更することが出来る。
- [第8章 プレイの規定]
- P78 アシストキャッチ 1) <<結果>> 当てられたプレイヤーはアウトにならない。 ボールの
支配権は、当てられたチームの内野に移る。ただし、アドバ
ンテージを採用(判断)している場合は、結果を見て判定す
る。
- P79 3) <<例1>> <<処置>>アシスト成立。Bチームの内野プレイヤーは、アウトにならない。
⇒Aチーム内野プレイヤーのテクニカルファールにより、B
チームの内野ボール。
- P79 3) <<例2>> <<処置>>アシスト不成立。Bチームの内野プレイヤーは、アウト。 ⇒B
チームのプレイヤーのタッチ・ザ・ボディーにより、Aチーム
の内野ボール。

公式ルール&審判テキストブックの改定項目 ②

【2015－2016年度版】

<第9章 ファール>

P84 ファール 1)2)3)

P84 ファイブパス ダブルパス③

P85～P86 オーバーライン1)2)3)<フロー図> 5)6)

P88 ホールディング 3)

P90～P91 ダブルタッチ

注1 注2 注3 注4 [審判員の留意点]

P92 インターフェアー 3)*<注記>

P93 アウトプレイ 1)2)4)

P94 イリーガル・スロー 注3 注4

P95、96 イリーガル・キャッチ 注1 注2 注3

P98 アドバンテージ

[補足・追加事項]

P103 イリーガル・キャッチについて 1)2)

P104 イリーガル・スローについて 1)2)<事例>

[実技統一事項及び統一基本動作]

[統一基本動作]

P117 オフィシャルタイムアウト継続中に再度協議が必要と判断した場合

P118 ファール発生に伴い、アシストキャッチ不成立となり、「アウト」を確定させる場合

P118～119 主審及び副審のコートに正対して行う行動とプレイヤーに向けて行う動作